

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 ブルーライン

②事業者情報

名称: 所沢市立かしの木学園	種別: 児童発達支援事業
代表者氏名: 鈴木 喜代子	定員(利用人数): 50 (41) 名
所在地: 〒 359-0002 埼玉県所沢市中富1535-3	TEL 04-2942-4024

③総評

◇特に評価の高い点

(1)【福祉サービスの質の向上】

管理者は、基本方針を分り易くまとめた「事業計画シート」に於いて、療育や支援に関わる方針や職員の行動指針を分り易くまとめており、日々のミーティングの中で改善のPDCAを展開しています。定期的に利用者からのアンケートも行い、又、作業療法士・心理士等の専門家に定期的にアドバイスを受たり、県の子供発達支援センターの連続講座への職員の派遣等、質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮しています。

(2)【教育・研修に関わる基本方針】

人材育成基本方針の中に、「期待する職員像」を明示しており、研修担当者により職員研修計画が策定されています。準備された研修計画は、新任職員研修や管理職研修等の階層別研修始め、専門技術や専門資格に付いても準備されており、外部研修を含めると充実した教育研修体系となっています。又、内容やカリキュラムの評価・見直しも行われ、次年度の計画に盛り込まれています。

(3)【福祉サービスの継続性に配慮した対応】

福祉サービスの内容の変更にあたっては、アンケートによる希望調査を行い、希望に添った移行支援を実施しています。移行児の保護者に対して、年4回のかしのき広場(退所後のケア、相談等を受ける機会)の開催により、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されています。移行時には移行先に対して引き継ぎ資料を作成し、提供しています。

◇特にコメントを要する点

(1)【ヒヤリハット事例の収集】

各種災害時の対応マニュアルは準備されており、ヒヤリハット事例の収集も行われています。収集した事例をもとに、発生要因を分析し改善策・再発防止策の検討が行われていますが、発生事例を観ると同じ事が何度も繰り返されており、その事故防止策は余り機能しておらず、実効性に大きな問題を感じます。せつかく記録を取っているのであれば形だけではなく、なくす努力としての安全確保策の検討が望まれます。

(2)【自己評価の実施】

毎月行われている事業計画シートの評価・見直しにより、組織的なPDCAが行われています。定期的に第三者評価の受審もされており、そこからの課題は着実に改善に向け展開されていますが、職員の自己評価は今後の予定となっている為、そこからの課題の抽出・分析・改善検討・実施・評価・見直し等は今後期待されます。

(3)【総合的な人事管理】

法人の人材育成基本方針に於いて、目指すべき職員像が明示されています。勤務評定や目標管理制度が実施されていますが、人事基準に付いては本部の裁量で決定される事が多く、評価に付いて不明確な部分もあり、職員が将来の姿を描く事ができる様な仕組みとなっているのか検討を要すると感じます。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価の受診により、職員ひとり一人が業務全般にわたって再確認や見直しをする機会になりました。また、職員間の認識の摺合せを行なうことで課題点、改善点についての共有化もできました。まずは、ご指摘のあったヒヤリ・ハット改善のための機能的な仕組みづくりに取り組みたいと思います。事業所自己評価については、児童発達支援事業所ガイドラインに基づいた自己評価を、平成30年1月に実施する予定にしています。人事管理についても、まずは目標管理の取り組みがうまく機能していくように勧めていきたいと思っています。また、今回、利用者の方からいただいたご意見についても真摯に受け止め、事業所の内容充実に努めて参ります。今後も、職員が一丸となって課題共有と解決に向けた取り組みを継続していきたいと思っています。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙